

2022 年度 学校関係者評価報告書

福島医療専門学校
学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員会は「2021 年度学校自己評価結果」に基づいて学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告致します。

1. 開催日時・場所

日時：2022 年 11 月 13 日(日) 13 時 00 分～14 時 20 分

場所：福島医療専門学校 本部・柔整科校舎会議室および ZOOM によるリモート会議

2. 出席委員（敬称略）

《企業等委員》

加藤 めぐみ わたなべ歯科医院勤務
三瓶 直之 安積野さんぺい整骨院院長

《学内出席者》

飯島 正治 校長
齊藤 慎吾 教務部長
鈴木 英明 教務副部長
柴田 佐智子 教務副部長
後藤 陽正 柔整科学科長
千木良 美歩 鍼灸科学科長
今泉 正子 歯科衛生士科学科長
鬼越 勇人 事務局長
小池 一幸 事務局次長

3. 委員会の概要

- (1) 開会
- (2) 校長挨拶
- (3) 2021 年度（令和 3 年度）学校自己評価報告
- (4) 質疑応答・意見交換
- (5) 学校関係者評価委員による評価
- (6) 評価の公表
- (7) その他
- (8) 閉会

4. 教育の目的・目標（以下に記載する内容は「学校法人福寿会」のもの）

《建学の目的》

「福寿高尚の教育」

21 世紀を迎え、生きがいのある「福寿」に満ちた長寿社会の構築を目指し、「医は仁術である」という崇高な精神のもとに「高尚」の教育を推進し、医療社会に貢献できる人間性豊かな人材を育成することを目的とする。

《教育目標》

- ①深い教養と諸能力を持つ人間を育てる
- ②医道に奉仕する心を持つ人間を育てる
- ③自然を敬い、生命の尊厳を重んじる人間を育てる

《教育方針》

- ①深い教養と諸能力を迫及する「創造教育」

グローバルな時代の中で、高い次元から「より深い哲学的教養を養い、文化を創造する能力」を育てる。

- ②倫理観と向き合い、人間愛にあふれた「医術教育」

医道を極めるにふさわしい臨床的技術を追求する過程において「思いやりと優しさに裏打ちされた奉仕の心」を育てる。

- ③美しいものに感動し、自然と人間のあり方を探求する「環境教育」

宇宙では、人間をはじめすべてのものは固有の生命を持ち、どれが中心ということはない。「生きとし生けるものは総て生かされている」という自然観を敬う心情を育てる。

《2021 年度重点教育目標》

■体験・体感させる教育の充実と拡大

■教育 I T 化の推進

5. 項目ごとの評価・課題・意見

※評価は 4(適切)を最も高く、1(不適切)を最も低いものとする。

(1) 教育理念・目標

評価項目	評価
1) 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4.0
2) 医療専門学校としての医療人教育がなされているか	3.8
3) 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.8
4) 学校の理念・目的・育成人材像・特色などが教職員・学生・保護者等に周知されている	3.9
5) 各学科の教育目標、人材育成像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.8

<課題と改善方策および委員会の意見>

- ・教育理念、教育目標は教職員、学生に正しく周知されていると思われる
- ・具体的には Teams アプリを使用した学生・教職員間の情報共有・活用と利用方法の開発、教員を含めた IT 教育充実が課題。
- ・日本語学科や保育園を中心に増員した新たな人材の教育を図っているが、人材教育の時間の確保が難しい。オンラインでの情報共有を徹底し、人材教育に生かしていきたい。

(2) 学校運営

評価項目	評価
1) 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4.0
2) 運営方針に沿った事業計画が策定されているか。事業計画の共通理解がなされているか	4.0
3) 運営組織や意思決定機能は、規則や校務分掌等において明確化されているか	4.0
4) 校務分掌における役割と職責が明確化され、有効に機能しているか	3.9
5) 人事、給与に関する規定等は整備されているか	3.9
6) 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.9
7) 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3.9
8) 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4.0
9) 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4.0
10) 組織内におけるパワーハラスメントやセクシャルハラスメントへの対策が図られているか	3.7
11) 学内で新型コロナウイルス感染症対策が図られているか	4.0

<課題と改善方策および委員会の意見>

- ・オンラインを活用して情報の共有と活用を図る。特に日本語学科での教育が必要。各教職員間で teams 等の情報交換ツールをさらに活用していきたい。
- ・意思決定に係る会議の議事録がアップロードされていないものが散見される。また内容について結果のみ書かれていることがあり、どのようにその結果に至ったかが解らないのではないかな。
- ・ハラスメントについては、一部認識の進んでいない教職員もみられるので研修会等を通してさらなる啓蒙家駆動を進める。
- ・本校は社会人入学者も多く、他校との差別化と独自の特色はもっと広く PR してもいいのではないかな。特に各科の 1 部は接骨院や歯科医院で働きながら学ぶ上で、両立させやすい環境であると思う。
- ・業界での研修を在学中からもっと行えるよう、学校として広く浸透・普及させてもいいのではないかな。

(3) 教育活動

評価項目	評価
1) 教育理念等に沿ったカリキュラムの編成・実施方針等が策定されているか	4.0
2) 一定の到達レベルを目標とした教育や学習時間の確保がなされているか	3.8
3) 各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	4.0
4) 医療人の職業教育という視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4.0
5) 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.9
6) 関連分野における実践的な職業教育（産学連携による実技・実習等）がカリキュラムに組み込まれているか。	4.0
7) 授業評価の実施・評価体制はあるか	4.0
8) 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4.0
9) 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4.0

10) 国家資格取得に関する指導体制を体系的に明確に位置づけているか	3.5
11) 教育理念、教育目標の達成に向けて、授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.8
12) 関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどの取り組みが行われているか	3.7
13) 関連分野における先端的な知識と技能等を修得するための研修や教員の指導能力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	3.7
14) 教職員の能力開発のための研修等が行われているか	3.5

＜課題と改善方策および委員会の意見＞

・通常授業以外の学修時間を設けてはいるが、一部学生は時間の確保が出来ないため、目標に到達できていない者がいる。

⇒補習授業などを計画的に事前に通達し、学生が通常授業以外の講義を受講しやすい環境を作る。また、ICT 教育を進め個々のレベルに合わせた学習ができる環境を確保する。

・昔とは異なり、リモート授業が大部浸透してきたと感じる。

⇒リモート授業は理解度が低いと感じられる場面がある。

⇒実技に関してはリモートでは限界を感じる。個々で学習時間の差が出る。リモート学生に対しては実技の授業外での再指導の実施や特に成績不良者へ確認とアドバイスを継続的に行っていく。

・関連団体との意見交換が少しずつ実践されているようだが、いただいた意見を参考にカリキュラムの改善が必要である。

・1・2 年次の学習方法、学習時間の確保、が課題ではないか。

⇒早期から学力不良者に対し学習習慣や自習の必要性を指導し、基礎力をベースに応用に取り組める学習体制を実施する。

(4) 学修成果

評価項目	評価
1) 就職率の向上が図られているか	4.0
2) 国家試験合格率の向上が図られているか	3.7
3) 退学率の低減が図られているか	3.2
4) 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.2
5) 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3.9

＜課題と改善方策および委員会の意見＞

・学力向上の遅れがみられる学生がいる。

⇒1 年次より国家試験への意識付けと明確な目標設定を促す。学習の反復や自主学習習慣の獲得などができるよう指導の強化を行う。

・学力不振、目的意識の低下など第 1 学年に退学者が多く、学力不足による進路変更や金銭的な問題が原因である。

⇒学力対策はグループワークや振り返り授業、ICT などを活用する。目的意識低下は職業教育を通して、1 年次からサポートする。

⇒科内、教務内での情報共有を継続的にしていく必要がある。保護者との協力体制も必要。

・同窓会との連携が不足していると思われる。

・国家試験の出題傾向はどうなっているか。ぎりぎり合格している学生もいるのではないかと。1 点、2 点でやはり結果が変わってくると思う。

(5) 学生支援

評価項目	評価
1) 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4.0
2) 学生相談に関する体制は整備されているか	4.0
3) 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4.0
4) 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4.0
5) 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4.0
6) 学生の生活環境への支援は行われているか	4.0
7) 保護者と適切に連携しているか	4.0
8) 卒業生への支援体制はあるか	4.0
9) 学生、卒業生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4.0
10) 高等学校や地域、業界団体との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	4.0
11) 学生に対するパワーハラスメントやセクシャルハラスメントを防ぐ対策を講じているか	4.0

<課題と改善方策および委員会の意見>

- ・適正であると言える。今後も継続してほしい。
- ・就職支援については、体制が整っていると感じる。

(6) 教育環境

評価項目	評価
1) 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4.0
2) 学内外の実習施設、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4.0
3) 防災に対する体制は整備されているか	3.2

<課題と改善方策および委員会の意見>

- ・防災マニュアルの周知徹底に加え、緊急時の対応が正しく行えるかどうかが課題である。

⇒緊急対応の訓練を定期的実施してはどうか。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	評価
1) 学生募集活動は、適正に行われているか	4.0
2) 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.8
3) 学納金は妥当なものとなっているか	4.0

<課題と改善方策および委員会の意見>

- ・概ね適正である。やはり合格率を積極的に公表できるよう、維持向上が必要不可欠である。

(8) 財務

評価項目	評価
------	----

1) 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	3.0
2) 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4.0
3) 財務について会計監査が適正に行われているか	4.0
4) 財務情報公開の体制整備はできているか	4.0

<課題と改善方策および委員会の意見>

- ・退学者による財務への影響が心配である。毎年の課題である人件費の削減においても引き続き対応が必要である。

(9) 法令等の遵守

評価項目	評価
1) 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4.0
2) 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4.0
3) 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4.0
4) 自己評価結果を公開しているか	4.0

<課題と改善方策および委員会の意見>

- ・法に則って適正に運営されている。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価
1) 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4.0
2) 学生のボランティア活動を推奨、支援しているか	3.7
3) 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実習しているか	3.5
4) 地域や町内の行事や活動、奉仕作業への参加など、地域と学校との連携を図っているか	3.0

<課題と改善方策および委員会の意見>

- ・外部での活動においては、コロナ禍による休止や中止、活動の制限が見られた。
- ・必要性は理解されているが、現状を鑑みてどのように実践できるかが課題ではないか。

6. その他の意見

- ・外部委員より、自己評価は全体を通して概ね適正であると思われるとの意見があった。
- ・コロナ禍の中で様々な制約が見られるが、引き続き学生に寄り添った教育活動を続けてほしい。